

吾峰会 岩手

発行：吾峰会岩手県支部
住所：奥州市胆沢南都田本木
電話：090-7795-3911

「八月に思うこと」

吾峰会副支部長 佐々木 秀市



令和七年度総会において副支部長を仰せつかりました。年齢だけは重ねておりますが（六十五歳）、令和二年に吾峰会に入会したばかりの駆け出しでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

先日、歌手のさだまさしさんが自身のコンサートの中で「日本人は八月にしか平和について考えることをしない、と言われる話している様子がある番組で流れていました。確かに、そう言われても仕方のない状況もあるのかなと思いましたが、ふと、学生時代のことが思い出されました。

昭和五十六年入学。当時の金谷川キャンパスには自治会や様々な学生団体・サークルの立て看が掲げられていました。大学当局への要求、仲間募集、反戦などいろいろな種類の立て看があり、「大学生って、こうやって主張しているんだ」的な刺激を受けたものでした。また入寮した如月寮では、未熟ながらも権利の主張や、自由・平

等・義務について夜を徹して話し合うこともありました。先の大戦の実相や核兵器が存在することの罪など、それまでの教育では知り得なかったことにも触れることができました。とはいえ、私自身は体育会系サークルやバイトにかまけて議論以上に行動することなく過ぎました。が、私の内心には、学生時代に得た刺激がだいぶ強く根付いていたのではないかと思います。

冒頭のさださんの言葉も現実かもしれません。が、現代の若者たちももちろんと平和について考え、行動しています。その一つの取り組みに、私も少しばかり関わっている「高校生平和大使」・「高校生一人署名活動」があります。高校生が全国の仲間と連帯し、校内や街頭で核兵器廃絶を求めて署名活動を行い、集まった署名を毎年国連欧州本部（スイス・ジュネーブ）へ届けるというもの

です。七月末には水沢地内でも行いました。

八月だからこそ平和について考え、自分のできる方法で行動に移すことの大切さに気づいていきたいものです。高校生の取り組みは、それを力強く後押ししてくれるものです。そしてなぜか、学生時代にいろんな場で皆と声をそろえて歌った、今では吾峰会の集まりの中で歌う「たんぽぽ」の歌は、平和への取り組みへの応援歌に聞こえてくるのです。

平和があるからこそ私たちの日常がある。吾峰会の皆様方におかれましては、大切な人の日常を守るため、考えていきたいものです。



あの日、あの頃
福島大学の思い出

「葵寮 バンザイ！」

教育学部小学校教員養成課程
昭和五十七年三月卒

及川 明子

大学時代を振り返ると、楽しい思い出が数々ありますが、今回は一年間お世話になった寮生活について書いてみたいと思います。

私は、昭和五十三年四月から翌年三月までの一年間を「葵寮」で生活しました。

当時、葵寮は船場町の大仏橋のたもとにあり、木造の古い二階建ての建物でした。

私は十五号室。四人部屋で、二年生二人、一年生二人というメンバー。初めて親元を離れての生活に不安いっぱい的一年生の私達を、二年生の先輩方はとても優しく迎えてくれて色々なことを教えてくれました。カリキュラムの組み方、サークル活動のこ

と、試験の傾向と対策、安くておいしいお店等々。

すぐに仲良し四人組となつた私達は、部屋でお誕生会をしたり、寮で食事が出ない日は一緒に外食に出かけたりました。



夜、部屋で勉強やおしゃべりをしていて、「なんか、アイス食べたくない？」と誰かが言い出すと、「よし行こう！」

と財布片手に、大仏橋の向こう側にあるセブンイレブンを目指しました。

「セブンイレブンは、いい気分♪」

と四人で歌いながら、当時は夜十一時で閉まってしまう店に駆け込んだものです。

古い建物での生活は、「部屋の暖房はこたつだけ」「洗髪は風呂場ではなく流し場で」「テレビは食堂に一台だけ」等々、今では考えられないような不便さはありましたが、楽しく温もりのある毎日でした。

数年前、十五室のメンバー四人で福島に集まってランチをしました。すぐに女子大生四人組に戻り、当時の懐かしい思い出を語り、コロナ笑いあいました。

私にとって葵寮での思い出は、かけがえのない宝物です。

「葵寮、バンザイ！」

第一回役員会開催 役員十一名参加

五月三十一日（日）水沢グランドホテルにて、第一回役員会が、十一名の役員の参加の下、開催されました。

〇報告

- ① 庶務報告
- ② 会計収支中間報告会費の納入者五十一名 八月一日現在
- ③ 本部吾峰会評議員会報告



葵寮の仲間と共に 明子さんは右端

〇協議

・研修旅行「母校をたずねる旅について」

協議では、主に学生との交流のもち方について話し合われました。学生から進路についてや不安なことを語ってもらおうということになりました。できれば、岩手県出身者がいいという意見も出ました。その他二日目の見学地として、宮城の「金蛇水神社」「水の杜水族館」が出されました。これらを踏まえ計画をする事が承認されました。※会の終了後、副支部長の横田一平さんから、『一平商会』が製造する自家焙煎珈琲豆（袋詰め）を、一人一人にいただきました。酸味の効いたやさしい味に感謝です。



福島を訪ねる旅について

〇日時

十月三日（土）四日（日）

〇行き先 福島大学他

〇福島大学での日程（三日）

① 学生食堂で昼食

② 本部より説明（食堂）

事務局長 山寺精吉氏

「福島大学の現状」

③ 学生との交流（講義棟）

・学生に進路や夢について語ってもらいます。

・参加者より感想、アドバイスを他

・一緒に学生歌斉唱他

※学生との交流は、初の試みです。教職員を目指す四年生23名とゼミ担当教官が参加する予定です。

〇国際交流会館（葵寮跡地）

福大同窓吾峰会本部事務局

梅津浩子様より説明

館内見学

〇古閑裕而記念館 如月寮跡地

館内見学

〇信夫山展望台より市内一望

〇飯坂温泉「ホテル叶や」

①夕食（バイキング）

②懇親会（夢を語る会）

・参加者よりお話

〇翌日の予定（四日）

①道の駅国見（買い物）

②金蛇水神社参拝

③昼食

④うみの杜水族館見学

※ご家族での参加も、大歓迎です。（詳細は案内参照）

お知らせ

五月十七日（日）福島大学に於いて、令和八年度同窓吾峰会評議員会が開催されました。本支部からは、佐々木木一郎支部長、事務局局長高橋、小野寺寛前支部長の三名が出席しました。

会議に先立ち本支部の小野寺寛様に、永年勤続支部長の顕彰として、本部吾峰会より「感謝状」が授与されました。これまでの岩手県支部への功績、ご労苦に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

会長からは次の五点についてあいさつがありました。

①会員未登録者への働きかけ

②創立百四十周年記念行事

③卒業生の進路について

④学部名変更について

令和九年度より「教育学部」へ

※教員養成として強化を図る。

⑤組織拡大について

※学部名の変更に伴い募集定員が九十名減になり、吾峰会の歳入が不足することも報告されました。協議では会員の高齢化が喫緊の課題で、組織拡大の現状・方策に向けた支部の状況についてグループ協議が行われました。

